

平成 26 年 11 月 13 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 大竹 雅治
(コード番号:2467 名証セントレックス)
問合せ先:取締役管理本部長 五十嵐 雅人
電話番号:03-5649-2500 (代表)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値 との差異に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)の業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 940	百万円 1	百万円 △2	百万円 △7	円 銭 △0.95
実績値 (B)	952	△1	0	△3	△0.53
増減額 (B - A)	12	△2	3	3	—
増減率 (%)	1.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	669	3	4	1	0.24

(注) 当社は、平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株を 100 株に分割し、1 単元の株式の数を 100 株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しています。

2. 差異発生理由

当第 2 四半期累計連結業績は、売上高につきましては、住宅関連事業において、4 月から 6 月の消費税増税の反動減による影響を受けましたが、グループ全体で、既存顧客及び新規顧客への積極的な営業活動、ウェブ戦略の継続的な実施を行った結果、各事業とも順調に推移したことにより、当初予想を上回る結果となりました。

営業利益につきましては、原価費用の内製化など事業経費の削減、その他経費効率の改善等に努めましたが、当初予想を下回る結果となりました。また、経常利益につきましては、保険解約返戻金や厚生年金基金脱退損失引当金戻入額などを営業外収益に計上した結果、当初予想を上回る結果となりました。四半期純利益につきましては、経常利益の増加に伴い、当初予想を上回る結果となりました。

3. 通期業績予想

通期の予想につきましては、現時点では不確定要素を多く含んでいるため、当初予想の売上高 1,923 百万円、営業利益 27 百万円、経常利益 20 百万円、当期純利益 5 百万円を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上